

高校生のための情報誌 The Best Express

第1回…11月5日(土) 数学Ⅰ・A
第2回…12月3日(土) 英語(筆記)

◆センター試験実戦ゼミ

センター試験まであと2カ月余り。試験本番までの残り少ない時間ですが、みなさんは効率よく対策を進められていますか？毎年恒例「センター試験実戦ゼミ」を実施します。科目は「数学Ⅰ・A」と「英語(筆記)」です。得点するのに必要な重要ポイントを丁寧に分かりやすく解説します。模試で点の伸び悩んでいる生徒さんの弱点や盲点、そしてセンター試験直前の効果的な勉強法も解説します。受験生は必ず参加して、志望大学合格に役立ててください！
実施日程・内容はこちら！

★センター試験攻略ツールを一挙に公開！
★受験生の弱点や盲点も解説！
★センター受験生は必ず参加しよう！！



◆冬休み時期の過ごし方

【Y先生・早稲田大学法学部一年生】
私は高校時代水泳部に所属していましたが、高1、高2の夏は部活動がとてつもないで、勉強に集中することは難しい状況でした。しかし、その分冬休みに取り返すつもりで学習を行いました。短期間に集中して学習することで、総復習として3学期の学習を効率よく行うことができました。一人で勉強しているだけだと、思い通りに進まなかったり、ついだらけてしまいがちですが、塾に来ることで生活リズムを保ち、わからないところをその都度フォローしてもらえたことが、とても大きかったと思います。普段、部活などが忙しくてなかなか勉強できないような人こそ、この冬休みをいかに過ごすかが重要だと思います。

ヒロシのっ！ 突撃インタビュー！



今回は、現在ベスト個別指導塾やベスト自修館でご活躍いただいている先生に、冬期講習の過ごし方について突撃インタビューをしてみました！

【K先生・東京学芸大学教育学部一年生】
自身の経験から、高校生の皆さんに冬休みにおすすめるしたいのは、普段の授業の予習・復習です。きつて、1〜2年生のころは部活中心の生活だという人が多いはず。実際、私もそうでしたが、冬は部活の

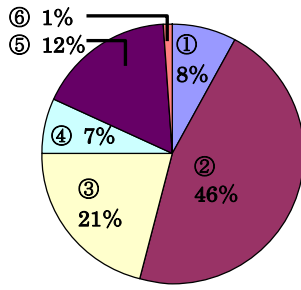
時間が短くなり夏に比べれば自由な時間が多くありました。そこで、その時間を利用して勉強計画を立てていました。あまりに大きな計画だと挫折してしまうので、最近習ったことの復習や少し先の予習を中心に進めました。それが順調に進むと、もう少し他の勉強もやってみようとか考えるようになりますし、休み明けからの学校の授業も余裕が持てるようになります。そうやって「やらなければいけないのはわかっているけど、なかなかスタートできない」という状態から、早く脱することが、受験の成功にもつながると思います。皆さんもぜひこの冬、よいスタートを切ってください。

【I先生・東京農工大学工学部四年生】
高校時代は、バスケット部で部活動が忙しかったため、普段は学校の予習・復習中心に勉強していました。日常の勉強で失敗した点をあげるとすれば、どうしても数学と化学に時間をかけてしまいがちになり、勉強時間のバランスが悪くなったところだと思います。これはあとから響いてきますから、皆さんも注意してください。また、休みにになると普段以上に部活の時間が増え、勉強時間を確保するのが大変でした。そんな中でも、受験に成功できたのは、高1の時から何でも相談できる先生がいたおかげだと思っています。その先生が受験までプライベートなことも含め、様々な相談に乗ってくれました。そういった良いアドバイザーがいると、安心して受験もできると思います。今は、自分が皆さんのよいアドバイザーになれるようにと、頑張っています。しっかりと応援しますから、みなさんも頑張ってください。

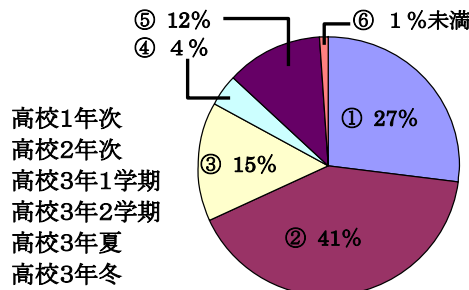
◆ちょっと休憩

〜センター試験の功罪なご〜
一九九〇年に、それまでの共通一次にかわる国公立大学入試の一次試験として始まった大学入試センター試験は、四年後の二〇一九年度(二〇二〇年一月)に行われるのを最後に廃止されることになっています。今回は、三〇年に渡り実施されることにな

《全受験生対象アンケート》
いつから大学を意識して勉強を始めたのか？



《第一志望合格者対象アンケート》
第一志望に合格した先輩方に聞きました！
受験勉強を始めたのはいつですか？



- ① 高校1年次
- ② 高校2年次
- ③ 高校3年1学期
- ④ 高校3年2学期
- ⑤ 高校3年夏
- ⑥ 高校3年冬

ついでに、**早めに取り組んでおく**と後々ためになることが多いです。そこで**①自信のある教科に**

現在高校生のみなさんの大部分は、このセンター試験を受験する(1)になるでしょう。およそのところで予想ができる点です。このことはセンター試験利用で私立大を受験する受験生にとっても、自分が何点取れるか判断しやすいという面でメリットと言えます。

一方「功」の面では…
やはり複数の大学教授が何ヶ月もの時間を掛けて作った試験ですが、非常に練られた良質の問題が多い。そのためあらゆる入試問題の中でもっとも期待通りの結果を出せる試験とも言えます。そして科目ごとの出題傾向も似通っているため、受験生自らが大体何点くらい取れるのかが、おおよそのところで予想ができる点です。このことはセンター試験利用で私立大を受験する受験生にとっても、自分が何点取れるか判断しやすいという面でメリットと言えます。

「基礎学力テスト」の範囲を超えてしまったということです。大学入試センターは、二〇一〇年に過去問使用を明言しましたが、その後のセンター試験でも、この傾向は完全に脱却しきれいていません。

まず「罪」の面では…
一つ目としては、上位以外の大学入試受験者の負担が大きいこと。とくに中堅以下の国公立大学にしてみれば、五教科七科目の基礎学力定着を課すセンター試験の配点を高くせざるを得ないため、大学独自の理念に基づいた選抜がされにくくなっています。次に二つ目。本来「基礎学力テスト」の位置づけであったセンター試験に、私立大学がセンター入試のみでの可否を決める入試を導入したために、最終的な可否を決める試験の性質を強めた点が挙げられます。つまり「正解の選択肢を選ばなく作る」という意図が反映されるようになり、例えば現代文では、「読解できているのに選択肢を誤る」といったケースも増えているようです。

ります。その際、とかく時間が足りなくなるのがこの試験の特徴ですから、**②必ず時間を計りながら行**ってください。また**大問ごとの時間配分を決め、必ずその時間内で正答に行き着く練習を積み重ね**ましょう。また苦手科目についても、センター入試に出題される英単語・漢字・語句で突飛なものには滅多にありませんし、出題されるレベルも大体同じと考えてよいでしょう。一度時間を決めて**③取り組んでみた後、ミスした解答解説の熟読と、知らなかった単語・漢字・語句のまとめ**を行い(専用ノートを準備しましょう)、**何回も見直し**を行ってみてください。数回繰り返して見るだけで効果がでてくると思います。

★「ロシ」にお任せ！

〜あなたのお悩み解決します〜

【文系Aさん(高1)の場合】

Aさん：英語もなんだけど、実はそろそろ社会もやりたいんだよね。塾って社会もできるの？あ、でもそれなら自分で覚えるだけか。

ロシ：社会？もちろんできますよ！覚えるだけではないですよ。授業でならインプットとアウトプットを効率良く行えますし、学校の補習はもちろん、受験対策までカバーしちゃいます！

【理系Bさん(高2)の場合】

Bさん：来年受験生なんですけど、どうやって始めたらいいのかわからなくて…。数学は学校にきちんとついていけるんですけど、英語がとにかくやばくて…。

ロシ：Never mind！今からでも十分間に合いますよ！焦らず、目標を早めに決め、どの時期までに何をすべきか明確にすることが大切です。

提案！

Bさんの場合、数学は入試対策型で8回、英語は基礎学力の定着型で10回くらい追加して頑張りましょう。『大学受験スタートコース』があるという情報もゲットしています！今すぐ先生に相談してみよう！

ベストのHdps.

教室ブログも毎週更新中！
<http://bestkobetsu.com/>

